

③ シンポジウム開催のお知らせ

シンポジウムは、市民の皆さまにまちづくりを考えるきっかけとしていただくとともに、パネルディスカッション等で得られたご意見を「第二次かごしま都市マスタープラン」（仮称）に生かすために実施します。

鹿児島市政 130 周年記念 都市マスタープラン策定に向けたシンポジウム

かごしまの 未来のまちづくりを とともに描く

第1部 基調講演 「かごしまの魅力を生かしたまちづくり」

●講師 西村 幸夫 神戸芸術工科大学 教授



第2部 パネルディスカッション

「かごしまの未来のまちづくりをともに描く」

大学生による発表～かごしまの魅力を生かしたまちづくりへのアイデア～

●コーディネーター 西村 幸夫 教授

●パネリスト・石塚 孔信 鹿児島大学法文学部 教授

・新崎 恭史 (株)日本政策投資銀行 南九州支店長

・江口 まさよ 鹿児島青年会議所 第65代 理事長

・宮之原 明子 (株)清友 代表取締役

日 時／ 2020 年 **1 月 1 1 日 (土)** 13 時 30 分～15 時 30 分

会 場／ 中央公民館ホール

アクセス／ 市電朝日通駅から徒歩 5 分

金生町バス停から徒歩 5 分

天文館バス停から徒歩 10 分



申 込 方 法

いずれかの方法でお申し込みください。

● ホームページからの申込：右記の QR コードから申込フォームにアクセスして、必要事項をご入力ください。



【申込フォーム】

● メールでの申込：「氏名、電話番号、住所（任意）」を明記の上、アドレス (toshikeikaku@city.kagoshima.lg.jp) までお送りください。

● ハガキでの申込：「氏名、電話番号、住所（任意）」を明記の上、下記の宛先までお送りください。

● 電 話での申込：「氏名、電話番号、住所（任意）」を下記の電話番号までご連絡ください。

※ 申込締切：2020 年 **1 月 6 日 (月)** 必着

鹿児島市役所
建設局 都市計画部 都市計画課

〒892-8677

鹿児島市山下町 11-1

電話番号：099-216-1378

ファクス：099-216-1398

✓ 詳しくは、
こちらをご覧ください

鹿児島市ホームページ

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>



かごしま都市マスタープラン

Kagoshima Urban Planning Master Plan News Letter

ニュースレター Vol. **2** 2019.12

Topic

まちづくりの課題を整理し、
学生ワークショップ、
シンポジウムで議論します。

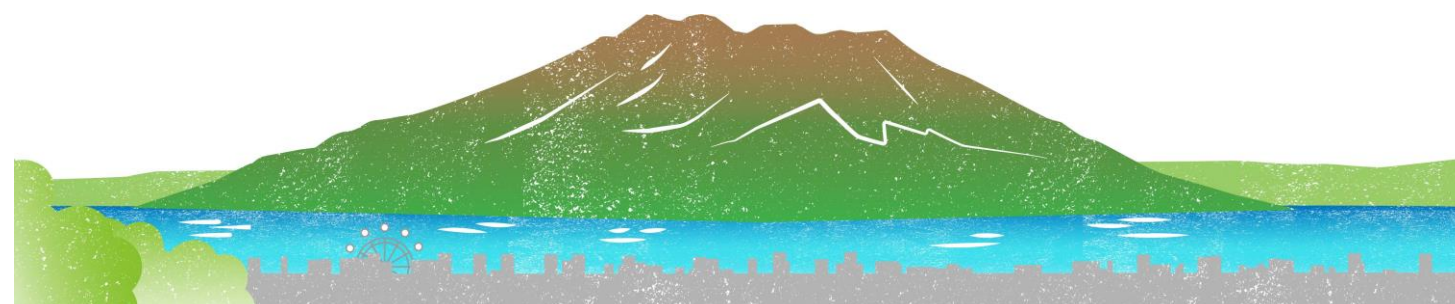
第2回かごしま都市マスタープラン策定協議会を開催し、現在の都市マスタープラン策定後の社会情勢の変化に対する取組状況の確認や、今後取り組むべき都市づくりの課題と方向性について協議しました。その結果、現段階では大きく分けて7つの課題と方向性が整理できました。

また、今年度は策定協議会とは別に、かごしまの次代を担う学生を対象とした、まちづくりのアイデアを考えるワークショップや、市民の皆さまのまちづくりを考えるきっかけとしていただくためのシンポジウムを開催いたします。

鹿児島市 都市計画課

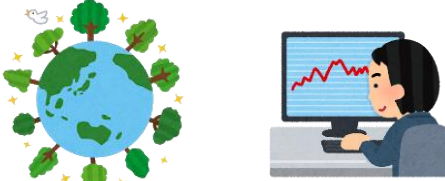
INDEX

- ① 都市づくりの課題と方向性
- ② 学生によるワークショップを始めました
- ③ シンポジウム開催のお知らせ



① 都市づくりの課題と方向性

本市の特徴、社会情勢の変化、市民意識調査結果などから、今後取り組むべき7つの都市づくりの課題と、それぞれに対する都市づくりの方向性が見えてきました。

課題① 人口減少社会等に対応するための 地域特性に応じた拠点の形成 ・人口減少の進行を踏まえ、それぞれの地域特性に応じて生活に必要な施設を集約するなど「歩いて暮らせるまちづくり」を目指すことが必要	方向性① コンパクトで暮らしやすい都市 
課題② 超高齢社会等に対応するための 交通体系の構築 ・お年寄りの方など、自動車を運転できない人でも安心して外出できる交通環境を確保することが必要	方向性② 誰もが快適で移動しやすい都市 
課題③ 大規模自然災害等に対応するための 防災・減災の土地利用等の推進 ・頻発する大規模自然災害等を踏まえ、災害に強いまちづくりや災害時の安全確保対策などが必要	方向性③ 安心安全な都市 
課題④ 都市の活力向上や次世代を育む 環境整備の推進 ・国内外の観光客や企業が来訪・進出したいくなる環境づくりや、子育てがしやすい環境づくりが必要	方向性④ にぎわいと活力のある都市 
課題⑤ うるおいのある都市環境づくり、 美しい景観づくりの推進 ・水辺や緑地など、うるおいを感じられる環境づくりや鹿児島ならではの美しい景観づくりが必要	方向性⑤ 自然・歴史・文化を生かした都市 
課題⑥ 個性ある地域づくりに対応するための 住民参加の推進 ・地域の特色を生かしたまちづくりを住民自らが考え、住民同士が協力しながら、積極的に取り組むことが必要	方向性⑥ 自発的・自律的な協働の都市 
課題⑦ 都市の脱炭素化や財政の健全化等に対応するための持続可能な都市経営 ・環境負荷のさらなる低減や公共施設の維持・管理コストの低減など、将来にわたって健全な暮らしや行政運営が可能となるような取組が必要	方向性⑦ 安定・成熟した持続可能な都市 

② 学生によるワークショップを始めました

若い世代のかごしまに対する印象を把握するとともに、かごしまの魅力を伸ばし、課題を解決するためのアイデア等を「第二次かごしま都市マスタープラン」（仮称）に生かすため、大学生などによるワークショップを始めました。

参加者 鹿児島大学、鹿児島女子短期大学、鹿児島国際大学、志学館大学、鹿児島純心女子短期大学、鹿児島県立短期大学の学生など

ワークショップの内容

2019 11/22 (金) 第1回「かごしまのまちの良いところ、悪いところを洗い出そう」
3グループに分かれて意見を出し合い、次回、話し合うテーマを決めました。



～まちの良いところ～

- ・動物園や水族館が市内にある
- ・市内の交通の便が良い
- ・交通手段がたくさんある
- ・ノンステップバスが増えている
- ・天文館アーケードの屋根が良い
- ・空港が遠いから騒音が少ない
- ・人が温かい、食べ物がおいしい
- ・まちなかで歴史を感じられる
- ・お店が多い、観光客が多い
- ・自然が豊か、景色が綺麗
- ・温泉や観光資源が多い
- ・祭りなど伝統行事も多い
- ・ゴミ処理施設がすごい



～まちの悪いところ～

- ・中央駅から天文館の間の楽しみがない
- ・市電がない地域へのアクセスが悪い
- ・市電の料金の支払いが不便
- ・バスの席が不足、お年寄りが座れない
- ・市電、バスの遅延が分かりにくい
- ・歩道の段差が多い
- ・街灯が少ない
- ・海や川にゴミが目立つ
- ・大雨による水害が心配
- ・若者が遊べる場所が限られている
- ・桜島が綺麗に見える場所が少ない
- ・まちづくりに関わる機会が少ない
- ・まちの困りごとを伝えるにくい



各グループが選んだテーマ

- グループ①：「誰もが快適で移動しやすい都市」
- グループ②：「コンパクトで暮らしやすい都市」
- グループ③：「自然・歴史・文化を生かした都市」

2019 11/28 (木) 第2回「かごしまの魅力を伸ばし、課題を解決するためのアイデアを考えよう」

2019 12/17 (火) 第3回「かごしまの魅力を生かした都市づくりに向けて、自分たちのアイデアを発表しよう」

2020 1/11 (土) 「シンポジウム」でアイデアを発表！！